

作品番号015-1



瀬戸の海を全貌で切る、築20年の古いマンションを前面改装し、新しく生き返らせる仕事です。

今回、初めてマンション生活を始める老夫婦のために、箱的空間の中に、どう本人に必要なライフスタイルを、取り入れ表現するか。これからの高齢化社会が進む中避けては取れないテーマとなった。

今の住宅、特にマンション生活は、物がいっぱい、生活空間が潰れている感じです。もともと日本の和空間と言うのは、空っぽで、座布団ひとつで空間がいきっていましたし、今よりも、ずっと狭い空間の中でも、十分生活が成り立っていました。

限られた、マンションという空間、
現代生活の中では、空間を美しく維持することは、難しく、
本来の、日本的美の中に考えを、求めることで、
心理的にも物理的にも効果を、だせるのでは。

障子越しの光、夜の月明り、軒下の影

それらが空間の中にも作り出す、陰影のドラマ

人の目がそこにとまり、そっと心がそそられる。明け方や夕暮れに、障子越しの光を楽しむ、そんな日本的なエスティック感の中に、これからのリフォームの可能性を感じ、また再確認できた仕事です。



作品番号015-2

